



TKK 共通シラバス

1. 科目名	減災学		
2. 教員名	三好勝則、村上正浩、久保智弘	3. 担当大学	工学院大学
4. 対象学年	3年	5. 開講時期	夏期集中
		6. 単位数	2単位

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

災害の種類やその成因、対処方法などについて、より高度で実践的な知識を本講義で身につける。高層建築物である新宿キャンパスにおける災害・火災の想定と対処方法を学ぶ。また、火災の感知と消火、避難のための設備について、構造と取り扱いを実際に自ら体験することにより、知識をより深める。また、地域での消防・防災活動のあり方など災害に強い社会づくりを考える。

8. テキスト、参考書、指定図書

テキスト
適宜配布

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

【事前に受講してほしい講義等】
社会貢献学入門、減災学入門、建築防災、地震工学

10. 提出課題など

レポート

11. 評価基準

出席 50%、レポート 50%

12. 学生へのメッセージ、受講生への要望

- ・ 八王子キャンパスで開講する減災学入門の履修者は本講義の受講者として優先する。
- ・ 本講義は、新宿校舎の他に、日本消防検定協会及び総務省消防庁消防研究センター（調布市）において実施する予定である。
- ・ 4月に講義案内を配布、受講希望者は後日ガイダンスに出席し説明を受けること。
- ・ 講習機材・指導員等の関係から受講者生は50名程度とする。
- ・ ガイダンス・実習の実施日時などについては、掲示板・キューポートなどで確認すること。

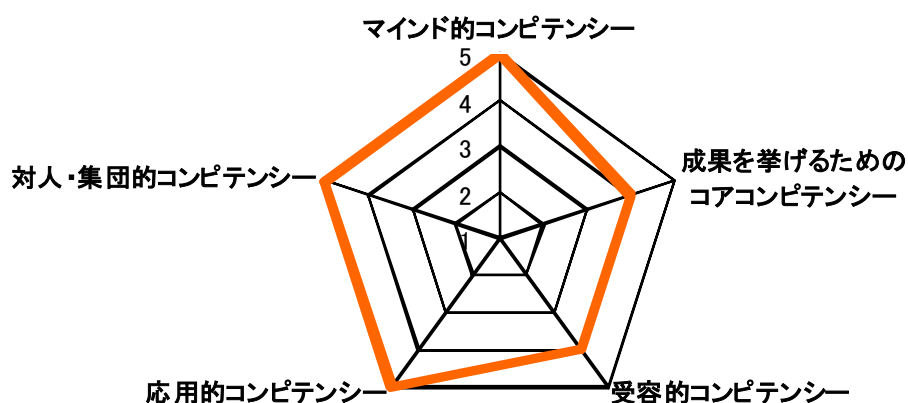
13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）

【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	ガイダンス（授業計画の説明など）
第2回	火災・災害の基礎 1	火災・災害の進展と対処方法
第3回	火災・災害の基礎 2	火災・災害の対処に必要な設備の体系
第4回	火災・災害対応 1	高層建築物における設備（新宿校舎を例として）
第5回	火災・災害対応 2	高層建築物における避難、予防
第6回	火災の感知・警報	火災の感知・警報に必要な設備・機器の構造と取扱
第7回	消火機器	消火に必要な設備・機器の構造と取扱
第8回	避難設備	火災・災害からの避難に必要な設備・機器の構造と取扱
第9回	特別な消防設備	新たな技術を活用した消防設備の開発と評価方法
第10回	都市における安全	過密都市空間の火災対策
第11回	大規模災害活動	大規模自然災害時における消防・救助の最適活動
第12回	危険物質対策	化学物質の爆発防止と石油タンクの劣化対策
第13回	災害での安全確保	災害対応高度資機材の開発状況
第14回	地域防災	公助と共助・自助
第15回	学習成果の確認	レポート課題の提出

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント

本講義では、特に「マインド的コンピテンシー」・「応用的コンピテンシー」・「対人・集团的コンピテンシー」の向上を目指す。防災意識や知識活用力、対人関係力・協調力・育成力の向上に力を入れる。